

「野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」 「毎月分配型」 2017年11月27日決算の分配金について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」 「毎月分配型」の2017年11月27日決算の分配金についてご案内いたします。

今回の決算におきまして、基準価額水準や市場動向等を総合的に勘案し、「円コース」「ユーロコース」「豪ドルコース」の分配金を引き下げることいたしました。なお、それ以外のコースにつきましては、前回決算の分配金額から変更ありません。各コースの分配金引き下げの背景、米国ハイ・イールド債の投資環境に関する詳細な説明については次ページ以降をご参照ください。

【分配金】(1万口当たり、課税前)

ファンド	円コース (毎月分配型)	米ドルコース (毎月分配型)	ユーロコース (毎月分配型)	豪ドルコース (毎月分配型)	ブラジル レアル コース (毎月分配型)	南アフリカ ランド コース (毎月分配型)	トルコリラ コース (毎月分配型)	通貨セレクト コース (毎月分配型)	メキシコ ペソコース (毎月分配型)
分配金額 (前回決算)	30円 (50円)	70円 (70円)	30円 (40円)	40円 (50円)	50円 (50円)	50円 (50円)	50円 (50円)	70円 (70円)	40円 (40円)
決算日の 基準価額	8,756円	11,273円	9,121円	6,545円	4,699円	5,044円	3,937円	7,033円	7,082円
決算日の 基準価額 (分配金再投資) (前回決算)	17,614円 (17,753円)	22,204円 (22,705円)	19,648円 (19,985円)	30,770円 (32,210円)	30,062円 (30,511円)	25,537円 (26,400円)	17,805円 (19,077円)	16,530円 (16,946円)	9,418円 (9,388円)
分配金額 設定来累計	7,110円	7,430円	7,540円	16,890円	15,600円	14,920円	11,810円	7,810円	2,220円

前回決算:2017年10月25日、設定日:各コース(「通貨セレクトコース」、「メキシコペソコース」を除く)は2009年1月28日、「通貨セレクトコース」は2011年10月27日、「メキシコペソコース」は2014年4月22日

基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【「毎月分配型」の分配の方針】

原則、毎月25日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲で委託会社が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に分配を行ないます。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。また、毎年1月および7月の決算時には、基準価額水準等を勘案し、上記分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

※コースによっては、投資信託約款上「原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意ください。

分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

【分配金引き下げの背景】

円コース(毎月分配型)

今回の決算におきまして、基準価額の水準、米国ハイ・イールド債の利回りと基準価額に対する分配金の水準などを総合的に勘案した結果、「円コース(毎月分配型)」の分配金を前回決算時の50円から30円に引き下げることにしました。

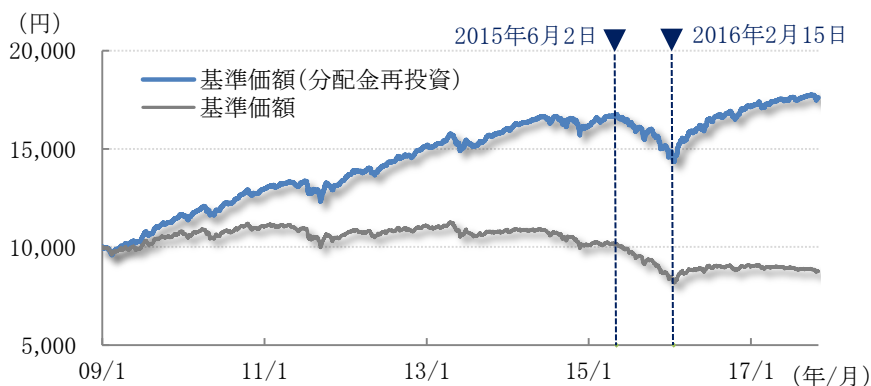
「円コース(毎月分配型)」の基準価額(分配金再投資)は、2015年6月頃から下落基調となり、2016年2月15日には14,345円まで低下しました。その後は米国ハイ・イールド債市場が上昇に転じたこと(詳細は5ページ参照)などから上昇し、2017年11月27日現在17,614円、2016年2月15日比+22.8%となりました。

一方、基準価額は、2017年11月27日現在8,756円、2016年2月15日(基準価額8,180円)比+7.0%となり、依然8,000円台後半の水準で推移しています。ファンドの投資環境が好転する中で、運用により得られた期間収益に対し、同期間に払い出した分配金の比率が高いことが、基準価額の回復が鈍い要因となっています。

ファンドは、売買益も分配金に充てることができますが、原則は利子・配当等収益等を中心に分配することを基本としているため、基準価額が10,000円を下回っている現在の状況下では、インカム収入の水準を中心に、米国ハイ・イールド債市場の動向等を総合的に勘案し、分配金額を引き下げるのが適切であると考えました。

< 「円コース(毎月分配型)」の基準価額の推移 >

期間:2009年1月28日(設定日)~2017年11月27日、日々



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【分配金引き下げの背景】

ユーロコース(毎月分配型)

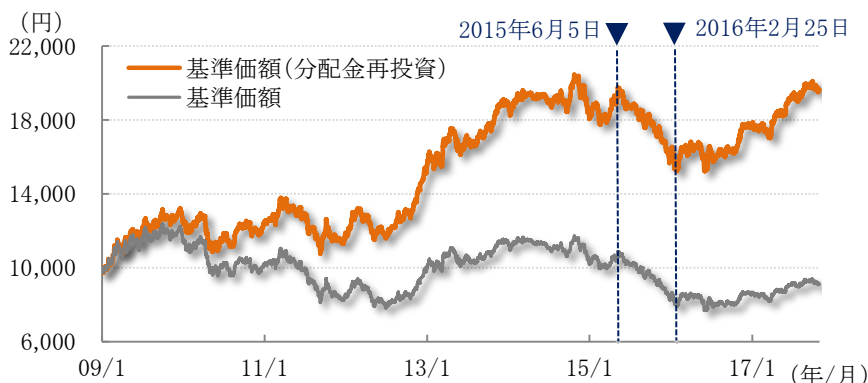
今回の決算におきまして、基準価額の水準、米国ハイ・イールド債の利回りと基準価額に対する分配金の水準などを総合的に勘案した結果、「ユーロコース(毎月分配型)」の分配金を前回決算時の40円から30円に引き下げることにしました。

「ユーロコース(毎月分配型)」の基準価額(分配金再投資)は、2015年6月頃から下落基調となり、2016年2月25日には15,231円まで低下しました。その後は米国ハイ・イールド債市場が上昇に転じたこと(詳細は5ページ参照)、2016年後半以降はユーロ(対円)が概ね堅調に推移したことなどから、2017年11月27日現在19,648円、2016年2月25日比+29.0%となりました。

一方、基準価額は、2017年11月27日現在9,121円、2016年2月25日(基準価額7,909円)比+15.3%となり、依然9,000円台前半の水準で推移しています。「円コース」同様、ファンドの投資環境が好転する中で、運用により得られた期間収益に対し、同期間に払い出した分配金の比率が高いことが、基準価額の回復が鈍い要因となっています。基準価額が10,000円を下回っている現在の状況下で、分配金額を引き下げるのが適切であると考えました。

< 「ユーロコース(毎月分配型)」の基準価額の推移 >

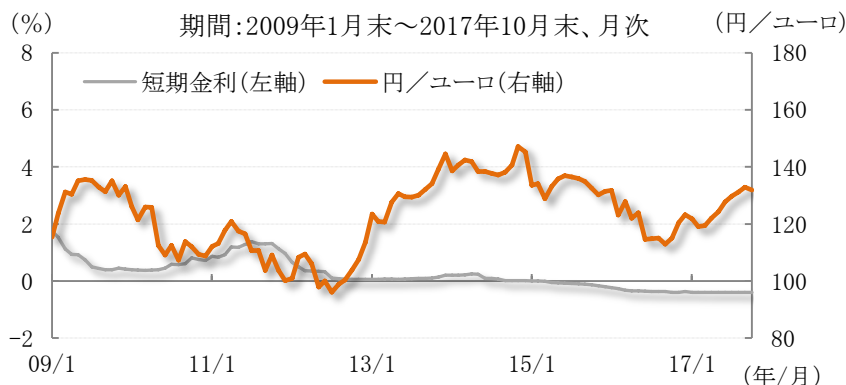
期間:2009年1月28日(設定日)~2017年11月27日、日次



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

< ユーロの為替レート(対円)と短期金利の推移 >



(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【分配金引き下げの背景】

豪ドルコース(毎月分配型)

今回の決算におきまして、基準価額の水準、米国ハイ・イールド債の利回りと基準価額に対する分配金の水準などを総合的に勘案した結果、「豪ドルコース(毎月分配型)」の分配金を前回決算時の50円から40円に引き下げることをしました。

「豪ドルコース(毎月分配型)」の基準価額(分配金再投資)は、2015年6月頃から下落基調となり、2016年2月15日には22,751円まで低下しました。その後は米国ハイ・イールド債市場が上昇に転じたこと(詳細は5ページ参照)、2016年後半以降は豪ドル(対円)が概ね堅調に推移したことなどから、2017年11月27日現在30,770円、2016年2月15日比+35.2%となりました。

一方、基準価額は、2017年11月27日現在6,545円、2016年2月15日(基準価額5,931円)比+10.4%となり、依然6,000円台の水準で推移しています。「円コース」同様、ファンドの投資環境が好転する中で、運用により得られた期間収益に対し、同期間に払い出した分配金の比率が高いことが、基準価額の回復が鈍い要因となっています。基準価額が10,000円を下回っている現在の状況下で、分配金額を引き下げるのが適切であると考えました。

< 「豪ドルコース(毎月分配型)」の基準価額の推移 >

期間:2009年1月28日(設定日)~2017年11月27日、日次

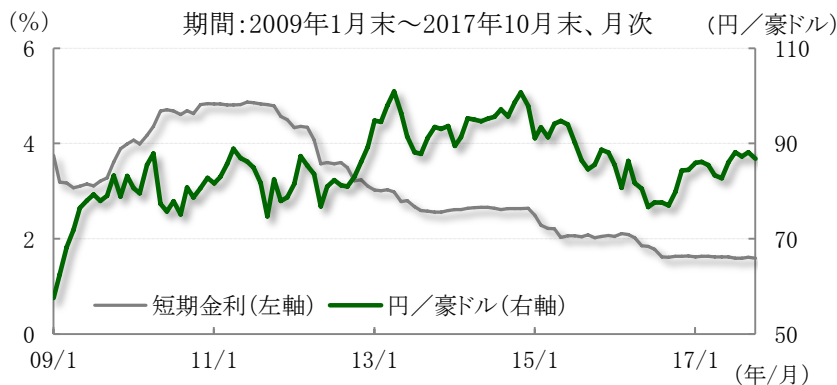


基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

< 豪ドルの為替レート(対円)と短期金利の推移 >

期間:2009年1月末~2017年10月末、月次 (円/豪ドル)



(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【米国ハイ・イールド債の投資環境】

米国ハイ・イールド債市場について

ファンドが実質的に投資対象とする米国ハイ・イールド債(BB～B格)^{*}のパフォーマンスは、2015年半ばから2016年初にかけて下落する局面もありましたが、その後は反発が見られ、米国での景気回復期待を背景に2016年2月中旬以降は堅調に推移しました。

2015年6月～2016年2月中旬まで、下落が続く

2015年6月以降は、原油価格の下落、ギリシャのデフォルト懸念、中国の景気減速懸念等を背景に世界経済の先行きに対する警戒感が高まったことから米国ハイ・イールド債は下落基調となりました。2015年12月に米金融当局が利上げを決定したことや、原油価格がさらに下落したことから、金融市場の先行き不透明感が継続し、2016年に入っても当初は軟調な展開となりました。

2016年2月中旬以降、2016年10月下旬まで、反発に転じ上昇基調に

2016年2月中旬以降、原油価格が回復したことや米国の利上げが緩やかなペースになるとの観測が広がったことなどから、世界経済の先行きに対する不透明感が後退し、米国ハイ・イールド債は反発しました。その後英国のEU離脱問題を背景とした投資家のリスク回避的な動きから、一時的に下落する局面もありましたが、米国での良好な経済指標を背景に景気回復期待が高まる中、上昇基調となりました。

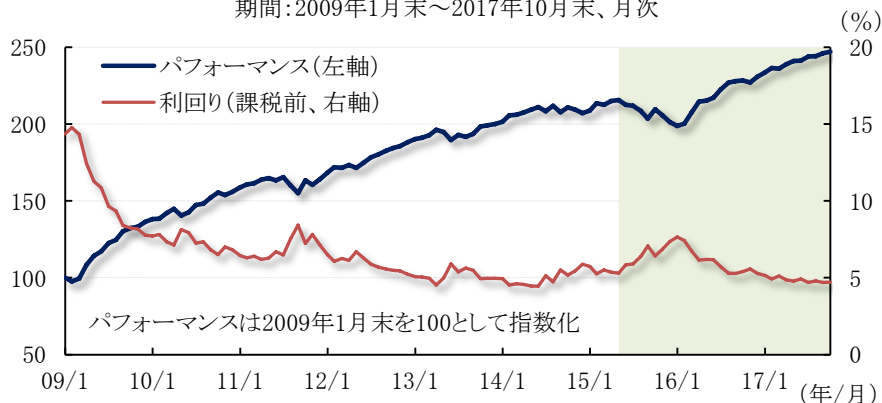
2016年10月下旬以降、米国企業の良好な決算発表などを受け、上げ幅を拡大

2016年10月下旬以降、米国大統領選挙を控えて一時的に軟調となる場面もありましたが、選挙後はトランプ米大統領の掲げる景気刺激策に対する期待が高まり、上昇に転じました。2016年12月以降は、米金融当局が利上げを実施しましたが、米国ハイ・イールド債の相対的に高い利回りを背景とした投資家からの堅調な資金流入が継続したことや、米国企業の決算が概ね良好だったことなどから、上昇基調を維持しました。

今後の米国ハイ・イールド債市場は、安定した企業業績を背景に、米国経済の拡大やデフォルト(債務不履行)率が低い水準で推移すると考えます。引き続き企業業績の先行きや主要な経済指標などを注視しながら投資を行います。

< 米国ハイ・イールド債(BB～B格)^{*}のパフォーマンスの推移 >

期間: 2009年1月末～2017年10月末、月次



^{*}米国ハイ・イールド債(BB～B格): BofA・メルリランチ・USハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・BB-Bレイティド・コンストレインド・インデックス、米ドル建て

(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

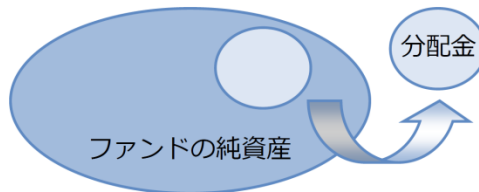
当資料で使用した市場指数について

●BofA・メルリランチ・USハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・BB-Bレイティド・コンストレインド・インデックスは、バンクオブアメリカ・メルリランチが算出する指数です。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はバンクオブアメリカ・メルリランチに帰属しております。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものとあり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

分配金に関する留意点

●分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



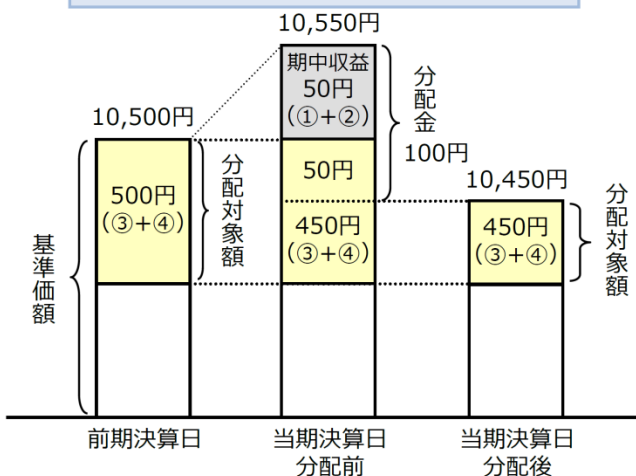
●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

・計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

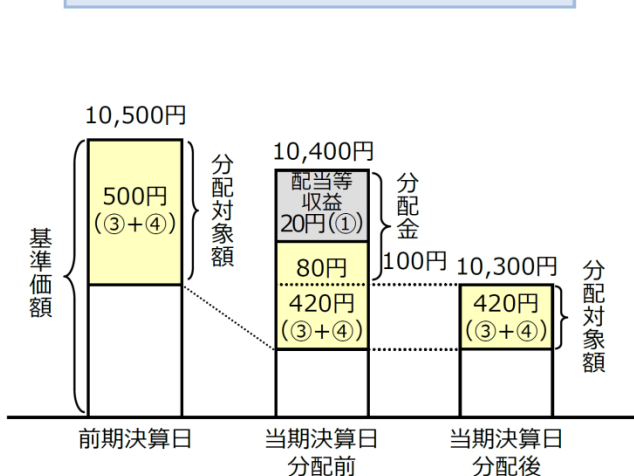
※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

前期決算から基準価額が上昇した場合

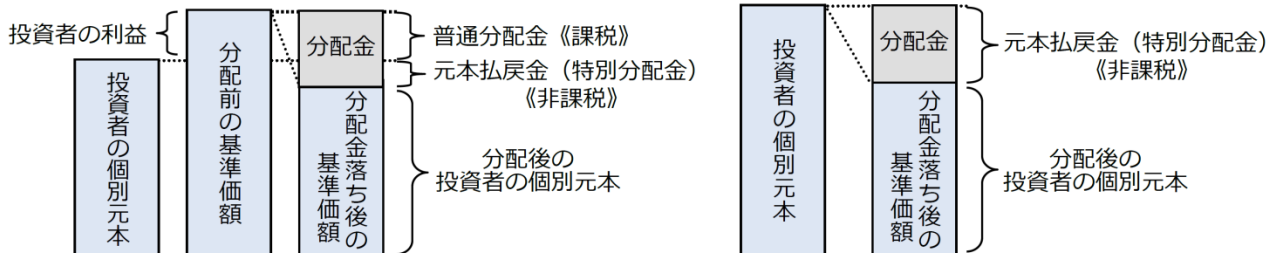


前期決算から基準価額が下落した場合



●投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

- ◇普通分配金 …… 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金（特別分配金） …… 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。



※投資者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

《ファンドの特色》

- 「野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」は、19本のファンド(「毎月分配型」と「年2回決算型」を有する、為替取引手法の異なる9つのコース(円コース、米ドルコース、ユーロコース、豪ドルコース、ブラジルリアルコース、南アフリカランドコース、トルコリラコース、通貨セレクトコース、メキシコペソコース)およびマネープールファンド(年2回決算型))から構成されています。
- 各コース(マネープールファンドを除く9つのコースを総称して「各コース」といいます。)
 - ◆高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。
 - ◆米ドル建ての高利回り事業債(ハイ・イールド・ボンド)を実質的な主要投資対象*とします。
※「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
 - ◆円建ての外国投資信託「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。
 - ・「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド」には、為替取引手法の異なる9つのクラスがあります。

各コース	各コースが投資対象とする外国投資信託の為替取引手法
円コース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産を、原則として対円で為替ヘッジを行いません。
米ドルコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として対円で為替ヘッジを行いません。
ユーロコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、ユーロを買う為替取引を行いません。
豪ドルコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、豪ドルを買う為替取引を行いません。
ブラジルリアルコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、ブラジルリアルを買う為替取引を行いません。
南アフリカランドコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、南アフリカランドを買う為替取引を行いません。
トルコリラコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、トルコリラを買う為替取引を行いません。
通貨セレクトコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、選定通貨*(米ドルを除く)を買う為替取引を行いません。
メキシコペソコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、メキシコペソを買う為替取引を行いません。

※選定通貨は、投資対象とする外国投資信託の副投資顧問会社が選定した通貨を指します。
詳細は、交付目論見書の「各コースが投資対象とする外国投資信託の概要」の投資方針をご覧ください。

- ◆通常の状況においては、「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド」への投資を中心とします*が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。
※通常の状況においては、「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。
- ◆各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
- マネープールファンド
 - ◆安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行いません。
 - ◆円建ての短期有価証券を実質的な主要投資対象*とします。
※「実質的な主要投資対象」とは、「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
 - ◆「野村マネー マザーファンド」への投資を通じて、残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせてコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図ります。
 - ◆ファンドは「野村マネー マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」を構成する「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングができます。

●分配の方針

◆毎月分配型

原則、毎月25日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。
分配金額は、分配対象額の範囲で委託会社が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に分配を行いません。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。また、毎年1月および7月の決算時には、基準価額水準等を勘案し、上記分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。
※コースによっては、投資信託約款上「原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものであることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意下さい。

◆年2回決算型

・各コース
原則、毎年1月および7月の25日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。
分配金額は、分配対象額の範囲で、原則として利子・配当等収益等および基準価額水準等を勘案して委託会社が決定するものとします。

・マネープールファンド
原則、毎年1月および7月の25日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。
分配金額は、原則として基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

*委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

《投資リスク》

各ファンド(「マネープールファンド(年2回決算型)」を除く)は、投資信託証券への投資を通じて、債券等に実質的に投資する効果を有しますので、金利変動等による当該債券の価格下落や、当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

「マネープールファンド(年2回決算型)」は、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間

平成36年1月25日まで
※「マネープールファンド」は平成31年7月25日まで

円コース、米ドルコース、ユーロコース、豪ドルコース、 ブラジルレアルコース、南アフリカランドコース、 トルコリラコース、マネープールファンド	平成21年1月28日設定
通貨セレクトコース	平成23年10月27日設定
メキシコペソコース	平成26年4月22日設定
- 決算日および
収益分配

【毎月分配型】年12回の決算時(原則、毎月25日。
休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
【年2回決算型】年2回の決算時(原則、1月および7月の25日。
休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額
- ご購入単位

ご購入申込日の翌々営業日の基準価額
1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円)
または1万円以上1円単位
なお、マネープールファンドは、年2回決算型の他のファンド
からのスイッチング以外によるご購入はできません。
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額

【各コース】ご換金申込日の翌々営業日の基準価額から
信託財産留保額を差し引いた価額
- スwitching

【マネープールファンド】ご換金申込日の翌々営業日の基準価額
「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間で
スイッチングが可能です。
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない
場合があります。
- お申込不可日

各コースは、販売会社の営業日であっても、申込日当日あるいは
申込日の翌営業日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合
または12月24日である場合には、原則、ご購入、ご換金、
スイッチングの各お申込みができません。
・ニューヨーク証券取引所 ・ニューヨークの銀行
・ロンドンの銀行 ・ルクセンブルクの銀行
- 課税関係

個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時
(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税され
ます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税
されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更
になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2017年11月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.24%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に 定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 なお、「マネープールファンド」へのスイッチングの場合は無手数料 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用 (信託報酬)	【各コース】 ファンドの純資産総額に年0.9504%(税抜年0.88%)の率を 乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 ・各コース(通貨セレクトコースを除く):年1.6504%程度(税込) ・「通貨セレクトコース」:年1.8004%程度(注)(税込) (注) 純資産総額によっては、記載の信託報酬率を下回る場合があります。 *ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、 投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。 【マネープールファンド】 ファンドの純資産総額に年0.594%(税抜年0.55%)以内 (平成29年10月20日現在年0.001188%(税抜年0.0011%))の率を 乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用 ・手数料	組入価額等のある証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する 租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に 料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時、スイッチング を含む)	【各コース】 1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額 【マネープールファンド】 ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に
応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号:野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会:一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎0120-753104

(受付時間)営業日の午前9時~午後5時



★インターネットホームページ★
http://www.nomura-am.co.jp/



★携帯サイト★
http://www.nomura-am.co.jp/mobile/

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
ごうぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第43号	○			
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第36号	○			
野村証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。